

平成29年度弘前市総合計画審議会担当課ヒアリング対象

No.	分野	政策	質問内容	委員	備考
1	ひとづくり	I 子育て	学校施設の活用や放課後子ども教室との連携により一体的な整備を図るということですが、具体的に駅前子どもの広場などの子育て支援センターとの関連はどうなりますか。	青山委員	
2	ひとづくり	II 子どもの学び	平成30年4月から小中一貫教育システムが導入され、中学校区における教育自立圏の取組が始まるが、コミュニティースクールについても、弘前市としてどのように取り組み、子どもたちはそれによってどうなっていくのか。また、高校や大学などの上級学校との関わりはどうか。	青山委員	8月23日(水) 18:00～ ひと・くらし 分科会
3	ひとづくり	III 多様な学び	都市環境と観光振興についての施策に関する原点に多様な学びがあると思います。直接関係ないように思われますが、多様な学びの学習内容では地域の文化や文化財、文化芸術を学ぶことによって弘前をもっと知ってもらうための政策が打ち出されています。都市環境ではその文化財に関する整備についての施策があり観光振興では、文化財、文化・芸術を資源として観光の施策があります。その連携について次期計画を立てる上でどのように取り組むのか聞いてみたい。	三上委員	
	まちづくり	II 都市環境			
	なりわいづくり	II 観光振興			
4	まちづくり	II 都市環境	行政側の連携について確認したいと思います。「2 魅力あふれる弘前づくりの推進」と「3 文化財の保存と整備」「1 観光資源の魅力の強化」の連携についてどのように進める考えなのか各担当課及び全体の考えを確認したい。魅力あふれる弘前づくりの推進では、文化財のほかにレンガ倉庫の整備、景観に関する施策が掲げられている。その文化財に関しては、別枠で保存と整備となっています。また、総合的な形で観光振興につなげるように進められていると思いますが、具体的連携が取れるのか取っていくのか直接聞いてみたいと思います。	三上委員	8月23日(水) 13:00～ まち・なりわい 分科会
	なりわいづくり	II 観光振興			
5	まちづくり	III 生活基盤	交通整理員事業が廃止され、「学校とPTA、地域が連携し、防犯等と含めた総合的な子どもの見守りを図っていく必要がある」となっています。具体的にはどのような見守り体制が検討されているのか確認したい。交通整理員は、子どもたちの顔を覚え、毎日子どもたちを継続的に観察し、変わったことがないかどうか様子を窺ってくれるなど、交通整理だけではなく役割を担ってきました。交通整理事業として考えるとPTAのボランティアだけでよいかもしれませんが、上記のような役割も担ってきたことを考えると、他の政策と連携し、ボランティアではない人材の配置が必要なのではないかと考えています。	森委員	

平成29年度経営計画マネジメント一次評価 審議資料

【分野別政策 ひとづくり】

資料2

政策	政策の方向性	施策	評価表 ページ	B: 審議会意見・提言
I 子育て	1 弘前っ子の誕生	1) 婚活の応援	ひと2	<p>■現状と課題</p> <p>①-1これまでの取り組みで、各種保育サービスや特別保育事業の整備は進み、保護者のニーズに対するサービスの提供は充実していると思われる。【島委員】</p> <p>■次期計画方向性</p> <p>①-2今後は、いわゆる、施設福祉の充実だけではなく、弘前市らしい在宅福祉の充実も検討できないものだろうか。【島委員】</p> <p>②子育て支援は進んでいると思う。モニターの意見で多かったのが、所得制限を外して欲しいというもの。以下、財源の問題があることを承知の上で意見を述べる。</p> <p>現在の考えかたでは、子育て支援は親を支援している。子育てする親をどう支援するか、親の負担をどう軽減できるかが課題となる。だから、子どもの数や家庭の収入が問題になるのである。そうではなくて、子どもを支援すると考える方が良いのではないか。</p> <p>つまり、生まれた子どもは全員が条件よく成長して自分の能力を開花させる権利を持っているのだと子ども中心に考える。そうすれば、親の収入に関わりなく、つまり所得制限なしで援助できることになる。親の収入が低いために自分が援助されるというのは、子どもにとってはかなりの精神的負担になる。親を支援するのではなく、子どもを支援すると考える方が良いのでは。子どもを産めば、負担なしに子育てができるという安心感が、少子化対策にもなる。所得面から結婚を躊躇している若者にとっても安心感が持てる。婚活の応援にもなるし、少子化対策の施策と横断的に考えることができる。【村松委員】</p>
		2) 多様な母子保健サービスの提供	ひと6	
	2 子育てに係る負担の軽減	1) 保育サービス・幼児教育の充実	ひと12	
		2) 経済的支援の充実	ひと18	
	3 笑顔あふれる子育て環境づくり	1) 子育て・子育てへの多様な応援	ひと24	
		2) 様々な環境にある子どもや子育て家庭への支援の充実	ひと28	

政策	政策の方向性	施策	評価表 ページ	B: 審議会意見・提言
Ⅱ 子どもの 学び	1 社会を生き 抜き、未来 をつくる弘 前っ子の育成	1)豊かな心を 育成する教育 活動の充実	ひと35	<p>■現状と課題</p> <p>①-1地域社会などでボランティア活動とありますが、どんな活動が、また参加することでの効果を明らかにしてはどうか。【青山委員】</p> <p>■次期計画方向性</p> <p>①-2子ども会リーダー、少年団リーダー、児童会・生徒会リーダー、部活動リーダーなど、同じ子どもや若者が重複するのでは。将来、弘前市を支えていく人材で、参加者を発掘することも必要と思う。【青山委員】</p>
		2)健やかな 体を育成する 教育活動の 充実	ひと39	
		3)よくわかる 授業づくりの 推進	ひと45	
		4)学力の向 上に向けた取 組の推進	ひと51	
		5)時代に対 応する教育の 推進	ひと55	
		6)生きる力を 育む地域活動 の支援	ひと59	
		7)豊かな情 操と夢を育む 事業の展開	ひと63	

政策	政策の方向性	施策	評価表 ページ	B: 審議会意見・提言
Ⅱ 子どもの 学び	2 学びと育ち の環境の充 実	1) 学校・家 庭・地域が共 に支える環境 づくり	ひと67	<p>■現状と課題</p> <p>■次期計画方向性</p> <p>②この領域では、とりわけ、退職教員や、一線を退いた職人さんなどを中心にした高齢者に、活躍してもらう場として、子どもの教育、とくに補修や遅れた子ども対策(退職教員の場合)に大いに活躍してもらうことを考えるべきではないか。退職教師による算数教室、理科教室、郷土の歴史教室、囲碁教室など。また、体育教師の場合、スポーツ少年団で活躍してもらうのもよいのでは。高齢者の生き甲斐をという意味では高齢者福祉の施策にもなる。長老の知恵、社会人としての常識など、接触の過程で子どもも学び育つ。こうした高齢者に学校教育に参加してもらうことも効果的ではないか。たとえば退職した大学教員にわかりやすく一時間の授業をしてもらうのも考えられる。津軽塗りの職人さんに漆という物質についてウンチクを傾けてもらうのもよい。</p> <p>地域との協議会などを作るだけでなく、各教科の授業にもゲストとして地域の有能な高齢者を招いてその職能と知恵を、児童生徒に見せてもらうとよいのではないか。【村松委員】</p> <p>③モニターの意見で、子どもが忙しすぎる、という意見があった、これは重要だと思う。孤立は避けるべきだといわれるが、一人で考えることも必要なもので、参加率の向上だけを目標にするべきではない。孤独が好きな児童もいる。そこから文化的なことが生まれることもある。</p> <p>子どもの学びについては、教育委員会とひろさき教育創生市民会議とが共同で政策を練るようにしたらどうか。【村松委員】</p> <p>④安心して過ごせる環境、学びと育ちの環境の充実に努めるありますが、将来何の役に立つかわからないなどは、家庭においてのことをどのように行政で方法性をつけることができるのか。【青山委員】</p>
		2) 共生社会 に向けた教育 基盤の確立	ひと71	
		3) 指導力を 高め、自己目 標を実現する 教員の育成	ひと75	
		4) 教育課題 の解決を目指 す研究活動の 推進	ひと79	
		5) 学習意欲 を引き出す学 びの環境の確 保	ひと83	
		6) 就学等の 支援	ひと87	

政策	政策の方向性	施策	評価表 ページ	B: 審議会意見・提言
Ⅲ 多様な学 び	1 学び合い 支え合う生涯 学習活動の 推進	1)生涯学習 推進体制の 充実	ひと92	<p>■現状と課題</p> <p>■次期計画方向性</p> <p>①家族の形態が変わりつつある現状をしっかりと把握する必要性を感じています。【青山委員】</p> <p>②共有・連携のようなことはとても難しい。高齢化ということで、健康や他の分野も加えた活動形態を変えている団体もあるので、今まで活動してきた芸術を大切にしながらも、視点を広げていくような提案は出来ないものか。スポーツをプラスするなど。【青山委員】</p> <p>③少子化によるPTA活動の縮小が否めない現状ではあるが、活動の縮小は子供たちの為にはならないのも実情であります。人口減少による地域衰退を助長させない為にも、地域の青少年の健全育成に関わる団体が、もう少し学区単位に関わりを持って活動してもらえれば、各学校のPTA活動の縮小を食い止める効果が得られると思います。また、学校と地域の関わりを深めることで、地域団体の要望や依頼に対しても、保護者側が積極的に協力する姿勢や理解が得られると考えます。【杉間委員】</p>
		2)社会教育 施設等の整 備と効果的な 運営	ひと96	
		3)生涯学習 社会を目指す 多様な学習機 会の創出と提 供	ひと102	
		4)市民の自 主的な学習活 動の支援と協 働によるコミュ ニティづくり	ひと108	
	2 郷土弘前 を愛し、自然 や歴史・文化 財を守る心の 醸成	1)文化財情 報の公開の 充実	ひと112	
		2)文化財を 活用した学習 等の充実	ひと116	
		3)地域に根 ざした文化遺 産の保存と伝 承	ひと120	

政策	政策の方向性	施策	評価表 ページ	B: 審議会意見・提言
Ⅲ 多様な学 び	3 文化・ス ポーツ活動の 振興	1)文化・芸術 活動の推進	ひと124	<p>■現状と課題</p> <p>■次期計画方向性</p>
		2)スポーツ・ レクリエーショ ン活動の推進	ひと128	
		3)文化・ス ポーツ関連施 設の整備・活 用	ひと134	
		4)東京オリ ンピック・パラ リンピックに向 けた活動の推 進	ひと140	